

令和元年度 第4回宗像市男女共同参画推進懇話会 議事録

日時：令和2年1月27日（月） 13時30分～

場所：宗像市役所北館 201会議室

出席者（敬称略）

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
石山 さゆり	○	井川 春奈	欠	蟹川 美和	○
小森 雅子	○	八尋 照代	○	高山 芳文	○
山田 雄三	欠	永嶋 久子	○	占部 圭司	○

●=事務局 ○=委員

1 はじめのあいさつ

宗像市男女共同参画推進懇話会 会長 石山さゆり

2 議事録署名人選出

議事録署名人： 蟹川 美和 委員

3 議事

（1）前回議事録について

○修正点なし。承認。

（2）第3次宗像市男女共同参画プラン体系について（資料1）

●資料説明

* 第3回懇話会で決定した基本理念を基に第3次計画の体系案を3案作成した。【第2次後期プラン】【当初案】を参考資料として、【案1】【案2】【案3】の内容を精査し、プラン体系を決めていただきたい。

* 【当初案】に一番近いのが【案2】となっている。【案2】を基本として基本目標をまとめたものが【案1】、基本目標を分けたものが【案3】。

* 【案1】について

- ・基本目標Ⅱでは、DVとハラスメントを施策1と施策2で分けている。（他の案では分けていない。）
- ・基本目標Ⅱ-4は、第2次計画の中では基本目標Ⅰ-1に属していた。

* 【案3】について

- ・基本目標Ⅲ-2に属している子育て・介護については、ワーク・ライフ・バランスの方が良いのではと感じた。

* 【案共通】について

- ・基本目標Ⅰ-2に挙げている女性の起業は、新規の取り組みである。
- ・防災・災害時における男女共同参画の推進についても、新規の取り組みと位置づけている。

- 基本理念にある「女性活躍」は市のマスタープランにも挙がっているので、第3次プランでは明確にして新規に取り組みたいと考えている。
- 「施策の取り組み」部分は、三案のいずれにも共通しているのか。
- 基本目標の枠が違ってもしずれかの基本施策枠にある。先ほど説明したDV・ハラスメントについてのみ【案1】だけが違う。
- ワーク・ライフ・バランスが、しっかり明記してある【案3】が良いと考える。
- ワーク・ライフ・バランスは【案3】には明記してあるが、【案1】【案2】には明記されていない。理由があるのか。
- 確かに【案1】【案2】でははっきり明記していないが、基本目標I-1-(1)仕事と家庭の両立の推進を始め、多岐の取り組みにワーク・ライフ・バランスが含まれるという考えから、あえて明記しない事で基本目標を簡素化している。
- 市の施策として、ワーク・ライフ・バランスの位置づけはどの様になっているのか。
- 次年度のプランでも、両立支援に向けて家庭や職場に対し情報の提供及び啓発をすると挙がっている。情報提供と啓発を進めていく考えである。
- 基本目標I-1-(1)「仕事と家庭の両立」とあるが、「両立」は両方ともに頑張らなくてはいけない印象がある。「調和」だと、自身が仕事と家庭のバランスを取るという印象に変わる。この場合、調和の方が合っているように思う。
- その様にしたいと考える。
- 【案3】基本目標Ⅲ-2-(1)子育て中の親への支援とは、どの様な支援になるのか。
- 市に出来る支援としては、待機児童対策の保育所や学童保育等の施設完備や、市主催講座等での無料託児のように子どもを預けるための安全な場所づくりである。
- ハード面だけでなく、子育て中の親が相談できる場所の拡充や学習の場の情報提供が必要に考える。
- 【案1】Ⅲ-2-(1)就学前教育における男女共同参画の推進とは、どの様な事か。
- 子どもに対して直接に取り組むのではなく、保育士や教員に対する男女共同参画の意識づけをするという事である。
- では「就学前教育の場」が正しいので、施策の取り組み欄は「就学前教育の場における男女共同参画の意識の浸透」が良いと考える。
- その様に変更する。
- 以前、北九州のムーブで研修を受けた際、絵本を作成し、学校や職場に配布していると聞いた。福岡市や北九州市では、その様な取り組みを行っているようだ。
- 【案1】は基本目標を少なくすることで方向性が描きやすいのが特徴であるが、その代わりに取り組みが多くなり個性が出しにくい。【案3】はワーク・ライフ・バランスが基本目標に明記されることで個性も出て、取り組みもはっきりするので評価しやすい。宗像市としての取り組みをアピールする事は大切であり、その為にはどこを強調していくのか、どのように表現するのが重要だと考える。
- 【案1】でDVとハラスメントが分けられている事はとても良いと考える。他の案になっても分けた方が良いと考える。

- 宗像市では、年々DV相談数が増加している。継続支援中もあるが、新規相談者も増えている。
- DVは夫婦など家庭の中だが、ハラスメントは社会全体で起こる事なので意味合いが違う。意味合いが違う物を一緒にするよりきっちり分けた方が良いので、どの案にするにしてもDVとハラスメントは分けた方が良いと考える。
- 市としてもそうしたい考えである。
- 前回までの会議で、カタカナ表記は分かりづらいと意見があった。ワーク・ライフ・バランスも表記を変えた方が良いのではないか。
- ワーク・ライフ・バランスは括弧書きで対応したいと考える。
- 小学校に男女共同参画についての学習時間は確保されているのか。地域の事と同様に男女共同参画について幼少期から教育する事はとても大切な事である。
- テーマによってはバラつきはあるものの、取り組んでいる学校もある。学校での取り組みについては、教育政策課と協議する必要がある。
- 【案3】基本目標V-2、3、4は誰を対象と位置付けているのか。
- 市民を対象として意識づけを目的にしている。
- 【案3】基本目標V-2、3は、一つにまとめて良いと思うが、分ける意図があるのか。
- V-2は、第2次計画で課題となった「固定的な役割分担意識」の解決に向けた啓発であり、V-3は、新しい情報の発信に重きを置いているので、あえて分けている。
- 【案3】基本目標V-4-(1)はどのような取り組みをしているのか。
- 子ども育成課が主として取り組んでいる「グローバル人材育成」である。国際交流をする中で、各国の男女共同参画を学び、日本の男女共同参画との違いを学ぶ機会を提供している。
- その内容であれば【案3】基本目標V-4は、「国際理解の推進」ではなく「国際交流による男女共同参画社会の理解」の方が良いと考える。
- そのように変更する。
- 【案3】基本目標IV-3「困難を抱えている女性等」とあるが、困難を抱えているのは女性だけではない。これでは高齢者や障がい者等の介護は女性だけが行うものと解釈できるので、反発が出ると考えられる。
- 文言は検討し直す。
- 基本目標の並べ方だが、順番に意味はないとしても、人は力を入れている事から順番に上から下へ並んでいると解釈してしまうので、女性にターゲットを絞った「女性活躍推進」を基本目標Iにするより、対象の大きいものを上に置き段々と対象を絞っていった方が良いと考える。
- 意見をまとめる。【案3】を軸にする。①基本目標の順番を工夫する。②基本目標Ⅲのワーク・ライフ・バランスは括弧書きで表記する。③基本目標IV-1のDVとハラスメントは基本施策から分ける。④基本目標IV-3の「困難を抱えた女性」部分の文言を工夫する。⑤基本目標V-1-(1)を「就学前教育の場における男女共同参画の意識の浸透」へ変更する。⑥基本目標V-2、3を一つにまとめる。

●次回は【案3】を再考し、より具体的な取り組みを作成したものを提示したいと考える。

3 事務連絡

- ・懇話会議事録について…次回会議で承認
- ・次回日程について…後日、日程を調整し案内を送付

次回予定

第5回宗像市男女共同参画推進懇話会（3月予定）

議事録署名人 宗像市男女共同参画推進懇話会 委員

蟹川 美和

